



やまさき

やさしさの「や」 まっすぐの「ま」 さわやかな「さ」 きぼうの「き」

<http://www.machida-tky.ed.jp/school/e-yamasaki/>

2021年5月28日
学校便り 6月号
町田市立山崎小学校
校長 小澤 智幸
Tel 042-793-2004

いじめの予防・早期対応について

校長 小澤 智幸

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために、緊急事態宣言が再延長されるとい報道が聞かれるようになってきました。新しい生活様式のなかで、感染防止対策をしっかりと行いながら、できることを工夫しながら今後も学校運営を行ってまいります。

さて、毎年本校では、いじめ防止対策基本法や東京都及び町田市教育委員会の施策に基づいて、いじめ防止基本方針を定め、予防と早期対応に取り組んでおります。6月は、東京都教育委員会の定める「ふれあい（いじめ防止強化）月間」となっており、山崎小学校では、いじめの予防・早期対応の取り組みを行って参ります。具体的には、

①心の教育の推進

学校教育目標に「思いやりのある子」を掲げ、全ての教育活動を通して、相手を尊重し思いやる心の育成を図っています。

②相談体制の充実

担任や養護教諭、スクールカウンセラー（以下SC 年間38回 木曜日勤務）など、子供たちがいつでも相談できるように環境を整えます。保護者とSCとの面談も受け付けております。ご活用ください。

③「心のアンケート」の実施

町田市の全小・中学校で毎月一度、全児童に対して「心のアンケート」を実施しています。（小学校1年生は、7月からの実施です。）子供たちに、学校生活で困っていることはないかを聞き、子供たちと面接をしたり、ご家庭と連携を取ったりしています。

④「いじめ予防早期発見月間」の実施

6月と11月を「いじめ予防早期発見月間」としています。今月は、いじめのないクラスにするためにどうしたらよいか子供たちで話し合い、クラスの標語を作ります。その標語は昇降口に掲示し、7月に振り返りをします。

以上の取り組みを進めて参りますが、「いじめ」の問題はご家庭との連携が必要不可欠です。お子さんの様子で気になることがございましたら、遠慮無く学校までご相談ください。ご協力をお願いいたします。

山崎再発見！【山崎の狐火】

山崎地区には、民話や伝説がいくつか語り継がれています。その中に、【山崎の狐火】という伝説があります。

黄昏せまる頃、「また、今夜も狐が提灯をあげている。」と家族の誰かが言い出すと、みんな集まって、狐の提灯をながめたという。大正の終り頃までは、下山崎で年に2・3回あったという。狐の提灯がよくあがる場所は、野津田の並木方向で、横に一直線黄色の光を「チラチラ」ちらつかせていたという。

昭和3年のある夕暮れに私の母が「あすこに狐のちょうちんがあがっているよ。」と指差した。1.5km位しか離れていない一本松の周辺で地上約3m位の高さの所に、横一列にろうそくの火より白く、灯りは絶えず「チラチラ」と交互に点滅を繰り返していた。位置は変えずに約12・3分、最後に次々消えていった。



交通安全について

本校の周辺は大きな道路があり、常に車が走っている状態です。地域の方も心配して登下校の際危険がないようパトロールをいただいています。学校でも児童に交通安全について指導していますが、横断歩道のない道路の渡り方や坂道の歩き方についても一度ご家庭でも話し合っただけだとありがたいです。

6月には1年生、3年生対象の交通安全教室も開催されます。自転車については、18歳未満の児童をもつ保護者には自転車に乗る際ヘルメット着用させる努力義務が規定されています。児童の安全を守るためにご協力ください。

ワンポイントアドバイス

自転車に乗るときも 歩いているときも

道路を渡るときは青信号でも、

必ず一旦止まって 安全確認

みき びり みき

右 左 右!

車が止まったのを確かめてから渡りましょう!

※特に大きい車(トラックやダンプなど)の運転手さんからは、皆さんのことが見えにくくて、車が止まらないことがあるかもしれません!

自転車に乗るときは万が一の事故に備えてヘルメットを着用しましょう!

